

福 井 県 医 師 会

だより

第651号 平成27年(2015)9月



バダウン族の親子

鯖江市 今野 利男

表紙写真説明：バダウン族の親子

鯖江市 今野 利男

カヤー州（ミャンマー）の州都ライコーから更に悪路を奥地に進むと、バダウン族と呼ばれる首長族の村に着きます。この地はまだ外国人に開放されたばかりで、殆ど観光客が訪れません。皆、昔のままの伝統を守って、農業を中心に暮らしています。

1軒のお宅を訪ねたのですが、いやな顔ひとつせず親切にもてなしていただき感激しました。子供が持っているのはサトウキビで、かじると甘い味がします。

醫 縫 録

外科医としての想いと 福井県外科医会の課題

福井県外科医会会長 林 秀 樹



本年4月の福井県外科医会総会において会長に選出されました。諸先輩がおられる中で会長を務めることは私の中では違和感があります。福井医科大学（現、福井大学医学部）で2年目の研修を終えたばかりの私は助手（現、助教）を努めるよう教授から言われ、母校の教授に相談してお受けすることにしました。この時、諸先輩に伍して努めます、と恥ずかしながら大見得を切ったことを思い出し、今一度私には過ぎた職をお受けすることにいたしました。特定の事項を伸ばしたり立て直したりすることでその団体の「長」を支えることが好きな私が長として会の全体をバランスよく運営していくためには皆様方のご支援とご助言が必要です。宜しく願いいたします。

外科志望者が減少していると久しく言われています。外科を志す若手医師数の指標と考えられる日本外科学会入会者数は外挿すると2025年頃にゼロになると言及された同学会幹部の先生がおられました。医師にもワークライフバランスが言われ、女性医師の外科志望が増えたことで入会者数は減少から横ばいに転じてはいます。しかし、男性医師の就業率が99%以上であるのに対して女性医師の就業率は20歳代で95%・30歳代で85%と報告されており、現場の外科医不足感は変わっていません。がんの手術待ち2-3ヶ月が当たり前の時代がやってくる、と母校のある先輩は言っています。視力の限界がメスを置く時とされてきましたが、鏡視下手術の普及とカメラCCDの解像度が人の網膜を上回るまでに向上し根気の限界が外科医としての引退を決める時代です。若い頃に素手で手術を行いC型肝炎・肝がんとなったことを外科医としての勲章とした岳父の言い残した言葉、メスは最後まで置くなよ、を胸に私も外科医としての機能を維持しなくてはなりません。1年目の研修医時代に主治医として担当した患者さんから今も年賀状をいただきます。このような喜びをどのように次世代の外科医師に伝えていくか、課題であると感じます。

専門医のあり方が検討されています。以前に乳がんの専門医も取ってもらえないかと病院から言われたことがあります。東京在住の友人に、おまえは確か消化器が専門だったよな。なぜ乳がんの専門医

もとる必要があるのか、と切り返された事があります。専門化の進んだ都市部の発想を理解しました。留学中にアメリカ外科学会誌に“Surgeon's Blue”と題された巻頭記事が載りました。副題は、外科医はどこまで専門化すべきか?でした。専門家になればなるほど就職病院を探すのは困難になるという内容でした。私が勤務する中規模一般病院では甲状腺外科だけをする専門医が来ても採用しないと思います。若手医師の多くは専門医志向ですが、学会の専門医認定はスペシャリスト養成に比重がありプロフェッショナルの養成感覚に乏しいと感じています。スペシャリストはドンピシャリの病態の患者には最高の医療を提供しますが、少しはずれた又は他病態を併存する患者をしのいで診療するというプロフェッショナルの力量を発揮できる医師の養成には必ずしもなっていない気がします。

小林前会長から引き継いだ課題が2つあります。まず、日本臨床外科学会から本会組織が同学会の福井県支部として機能するように期待されていることに関する方向性の確認です。学会本部の意向を再度確認した後、福井県医師会や福井大学医師会・福井大学関連医局のご助言・ご指導を仰ぐ必要があると感じています。もうひとつの課題は、病院勤務医師が約6割・診療所管理医師が約4割という会員構成にあって、臓器別部会中心の本会の運営に診療所管理医師の意見をより反映して欲しいという要望をいかにして実践できるか、ということです。スペシャリスト志向が多いと思われる病院勤務医師とプロフェッショナルであることが求められる診療所管理医師が相乗的に活動し福井県民に資する団体であり続けることが必要です。いずれも重い大切な課題です。

前会長のお言葉をそのままお借りして締めくくりといたします。本会が先生方の交流・生涯教育の場として役立ち、ひいては県民医療の発展に寄与できますよう、絶大なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。